

平成 25 年 10 月 24 日

各在宅リハビリテーション広域支援センター

鳥栖地区在宅リハビリテーション広域支援センター

第 1 回 介護予防実務者研修会のご案内

拝啓 秋冷の候、貴台におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より鳥栖地区在宅リハビリテーション広域支援センターの活動に格別のご理解とご協力を賜り深く感謝いたしております。

さて、この度下記の通り介護予防実務者研修会を開催する運びとなりました。

つきましては、貴管内施設への研修会開催の通知及び参加に際し、格別のご高配を賜ますよう謹んでお願い申し上げます。

敬具

記

開催日 : 平成 25 年 11 月 21 日 (木曜日)

会場 : 医療福祉専門学校 緑生館 (鳥栖市西新町 1428-566 佐賀競馬場前)

テーマ : 「生活行為向上のための介護予防」

内容 : 「できる」を探ること

講師 葉山 靖明 先生 (デイサービスけやき通り 施設長 : 46 歳・福岡県宗像市在住)
※講師の葉山さんは平成 18 年に脳出血を発症した体験やデイサービスを経営の経験を、
医療・福祉関係者に分かりやすく伝えたいと講演活動を続けてられています。
詳細はホームページ「デイサービスけやき通り」で検索できます。

日程 : 18:10 ~ 18:40 受付
18:40 ~ 21:10 研修会

申込み及び問い合わせ先

鳥栖地区在宅リハビリテーション広域支援センター 倉富 真
〒841-0074 鳥栖市西新町 1428-566 (医療福祉専門学校 緑生館)
TEL 0942-87-5595 FAX 0942-87-5597
E-メール sien@ryokuseikan.ac.jp

①参加者氏名 ②所属 ③職種を記入の上、電話、FAX、E-メールでお申し込みください。

締め切り : 平成 25 年 11 月 19 日 (火)

★ 生活行為や介護予防関連でのご質問やお困りの点などお知らせ下さい。

締め切り：平成25年11月19日（火）

別紙 返信用紙

送信先：鳥栖地区在宅リハビリテーション広域支援センター 倉富 真
FAX 0942-87-5597

第1回 介護予防実務者研修会参加申込書

施設名：_____

連絡先電話番号：_____

参加者名：

① _____ 職種

② _____ 職種

③ _____ 職種

④ _____ 職種

⑤ _____ 職種

⑥ _____ 職種

質問、お困りの点、その他何でも

「できる」を探すこと。

～片麻痺社長からの「生き活きと暮らすこと」への提言～

株式会社ケアプラネット

デイサービスけやき通り

葉山 靖明

「できない」を探すのではなく、「できる」を探してほしい。
案外、皆さん「できない」ばかりに目が行くようである。

高齢者は、目がよく見えない、耳が遠くなりよく聞こえない、記憶が出来ない…。
障害者は、遠くまで行けない、歩けない、宴会でさわげない、…。

だから、高齢者や障害者を「介護する」と、皆さんは口を揃えて言う。
この国の人々は特別に親切であるから、介護に、看護に、リハビリまでも準備は万全。
しかし、本当の優しさはそこであろうか？

私は「できない」を探すより、「できる」を探す方が断然、好きだ。

高齢者は、干し柿を吊るし、ちらし寿司を作り、書道し、縁側でお茶を飲みながら上品に微笑み、
時には孫の心配をし、息子の健康を案じ、仏壇に毎日お供え物をし、嫁に負けないくらいに綺麗に掃除し、
白菜の塩漬けを、梅干しを、盆栽を、隣組の世話を…、もともとも出来るのである。

障害者は、野球観戦に行ったり、新幹線で遠出したり、焼酎のお湯割り飲んで酔っぱらったり、川
の土手で寝ころんでいわし雲を眺めたり、片手でパスタ作ったり、利き手交換して左手で写経したり、
球磨川下りの船に乗ったり、Jazz 聴いたり、大学院で勉強したり、門松と一緒に作る指示したり、
…。

もともとも「できる」のである。その本人の意思を酌みとってほしい。

2013年。この国には、これらの「できる」を手伝う仕組みがあるという。

生活行為を向上させるための方法であり、「生活行為向上マネジメント」を言い、リハビリテーション
の中の「作業療法」の中に、その論理が存在するというのである。

そして、それが要介護状態を事前に予防するという。やはり、素晴らしい。

具体的な、「できる」の笑顔や視点、ポイントは講演の中でお伝えしたい。
是非、会場で共にこの国の未来を考え、高齢者や障害者の「できる」を創ってほしい。

以上